

令和3年5月18日

令和3年5月臨時会
副議長選挙に係る所信表明会会議録

長岡市議会

令和3年5月18日（火）午後1時44分開会

※

◎所信表明申出者（1人）

山田省吾君

※

（松井議長） ただいまから、副議長選挙に係る所信表明会を開催いたします。

※

（松井議長） 本臨時会における副議長選挙については、1名の議員から所信表明申出書の提出がありました。これより、所信表明申出者から演壇において5分以内で所信表明を行っていただきます。

なお、令和3年5月臨時会における正副議長選挙に係る所信表明会実施要領により、所信表明に対しては拍手その他の方法による賛意の表明や、野次その他の方法による反意の表明をしてはならないことになっております。また、応援演説及び質疑を行うことはできませんので、御注意願います。

それでは、山田省吾議員、所信表明をお願いいたします。

〔山田省吾君登壇〕

（山田議員） このたびの副議長選挙の実施に当たり、所信を述べさせていただきます。長岡令和クラブの山田省吾です。

本来なら、会派人数から見て副議長に立候補することなど思いもありませんでした。長岡市議会基本条例の第6条第1項には、議員は会派を結成することができる」とあり、第3項には、会派は必要に応じて他の会派との調整に努め、円滑かつ効果的な議会運営を図るものと書かれております。今回の副議長人事においても、各会派間の調整により、私が立候補することになりました。第6条については、長岡市議会の議会運営において非常に重要であると認識しております。

私は、長岡市議会議員としての誇りを持ちながら、住民と行政との潤滑油になるべく議員活動をしてまいりました。近年、長岡市を含む全国の地方自治体は、人口減少や少子高齢化、地域活性化など、多くの重要課題を抱えておりますが、これらの課題に対しても二元代表制の一翼を担う議会として、行政としっかりと連携し、今まで以上にその役割を果たしていかなければなりません。

現在、コロナ禍という大変困難な状況下ではありますが、このような取組を行政と一体となって進めていくことが、市民の負託に応える議会に求められていることと認識しております。

私は、この困難な局面だからこそ、歴史と伝統ある長岡市議会の立派な部分を継承しながら、初心を忘れず原点に戻り、今後も議員活動をしてまいる所存です。引き続き、議員各位からお力を頂きながら、令和の時代にふさわしい長岡市議会になるよう、松井議長を補佐し、市政の発展、地域活性化を進め、コロナ禍における市民生活の安定のために貢献してまいりたいと決意しております。

皆様の御賛意と御支持をどうぞよろしくお願ひいたします。御清聴ありがとうございました。

————— ※ —————

(松井議長) 以上で副議長選挙に係る所信表明会を終了いたします。

午後1時49分閉会

————— ※ —————